

小畑さんの裁判が**結審**、 来年**2月22日判決**！

2013年7月に大阪地方裁判所に提訴し、3年半以上が経ちました。会社は裁判所からの資料提出の要請にも応えず、不誠実な対応をしてきました。11月28日(月)第18回裁判の最終弁論で結審となり、2017年2月22日午後1時10分から判決が下されます。

<3年半の裁判で明らかになったこと>

☆人物評価が「標準」を下回ることは決していない

3年にわたる裁判を通じて明らかになったことは、小畑さんの業務遂行に不十分な点はなく、人物評価が「標準」を下回ることは決していない、ということです。

- ◇「業務知識等は高いレベルであり、進行中の事案については十分な対応ができている」
- ◇「代理店からの信頼も厚い」
- ◇「お客様第一の実践はされている」

これらはすべて会社が小畑さんに行った評価です。保険金サービスの業務に求められる評価としては最高のものと言えるのではないのでしょうか。

☆問われるべきは管理責任だった

会社が問題にしてきたのは長期滞留事案の存在です。しかしこれについてはその根本原因が小畑さんに押し付けていた膨大な仕事量にあったこと、また、長期事案を減らせ減らせと言うばかりで、何ら手立てをとろうとしなかった当該課長の問題であることが明らかになりました。問われるべきは管理責任だったということです。裁判官からは「課長としてあなたは何をしたんですか？」との厳しい質問もあびせられました。

☆「決裁権限」を恣意的に付与しなかった

また会社は、小畑さんの課長代理としての下位職指導を問題視してきました。しかしここにこそ不当な差別の根源がありました。

書類を見て、事案の経過を確認し決裁する、そのことではじめて日常的に下位職指導を行うことが可能となります。本来、課長代理の評価基準はこの決裁権限があることを前提として作成されているのです。しかし裁判の過程で、本来課長代理には全員決裁権限がありながら、小畑さんには一度も決裁権限が付与されなかったことが明らかになりました。また、課長代理でありながら、課の運営をつかさどる「課長席グループ」からも排除されていました。

小畑さんはその限定された状況の中でも努力を重ね、会社も「実務のリーダーとして有無責任判断やお客様、代理店対応において下位職のお手本となる事案対応を実践できている」と高い評価を与えざるを得なかったのです。



ご支援よろしく
お願いします。

損保ジャパン日本興亜の コンプライアンス感覚は？

電通の過労自殺事件が社会に大きな衝撃を呼んでいます。電通は、東京労働局などから大規模な強制捜査を受けており、徹底究明が必要です。同時に、日本社会にまん延する長時間労働を是正する徹底した対策が求められています。

電通ですら導入を断念した営業職の裁量労働制

電通人事局の部長が労務管理の専門誌『労務事情』（2002. 6. 1号）で、「（企画業務型裁量労働制は）ホワイトカラーのかなりの部分に適用できると思っていたが、実際はかなり限定されたものだ」「当社の営業に適用するのは難しい」と指摘。「営業は広告枠を売るだけでなく、商品開発からお手伝いする総合的なコンサルティング業務」だとして、営業職にも導入できるように「制度改正が求められる」と主張していました。

損保ジャパン日本興亜では…！？

厚生労働省によると、「企画業務型裁量労働制」の対象となる業務は、次の3要件をすべて満たすものでなければなりません。

- ① 会社運営の企画、立案、調査分析の業務
- ② 仕事の進め方を大幅に従業員に任せる業務
- ③ 時間配分について上司が具体的な指示をしない業務

ところが、損保ジャパン日本興亜では、営業や保険金サービスの職場まで「企画業務型裁量労働制」の対象としています。これは明らかに労働基準法に違反しています。

事業場外労働制にしても、損保の営業や保険金サービスの業務がこの制度に該当するとは到底考えられません。これも労働基準法違反です。

とてもコンプライアンスを標榜する会社のやることではありません。宣言通り法令を遵守してほしいものです。

過労死ライン…あなたは越えていませんか？

厚労省の「脳・心臓疾患の認定基準に関する専門検討会報告書」（2001年）は、その日の疲労がその日の睡眠で回復できる状態を維持するには、「残業時間は月45時間まで」としています。朝8時半に出勤して夜8時半まで仕事をすると、昼休みを1時間とっても1日の残業時間は3時間、20日働くと月60時間の残業となります。また、国際労働機関（ILO）は休息時間を連続11時間以上確保する方向を打ち出しています。

しかし、日本には、一部の例外を除き、勤務と勤務の間に一定の休息時間を保障するインターバル規制がありません。2日分の労働時間を連続させることも可能になっています。

あなたの健康、大丈夫ですか。

